

花粉症対策研究の 総合的推進について

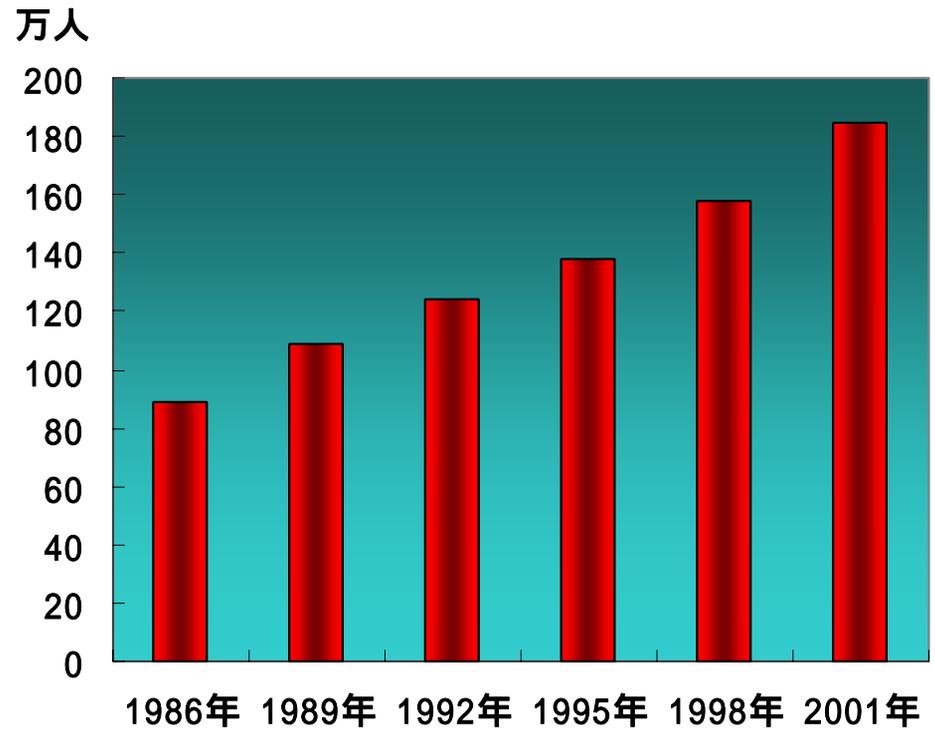
—花粉症対策研究検討会の成果を踏まえて—

平成17年2月23日

2005年の花粉飛散量は昨年より大幅に増加



アレルギー性鼻炎の通院患者数の推移

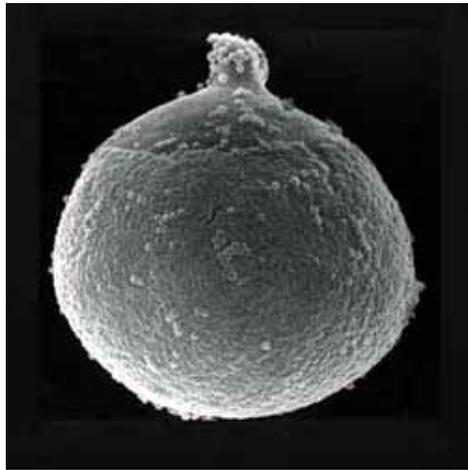


(厚生労働省国民生活基礎調査より)

国民の19.6%が花粉症

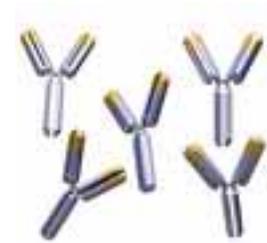
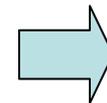
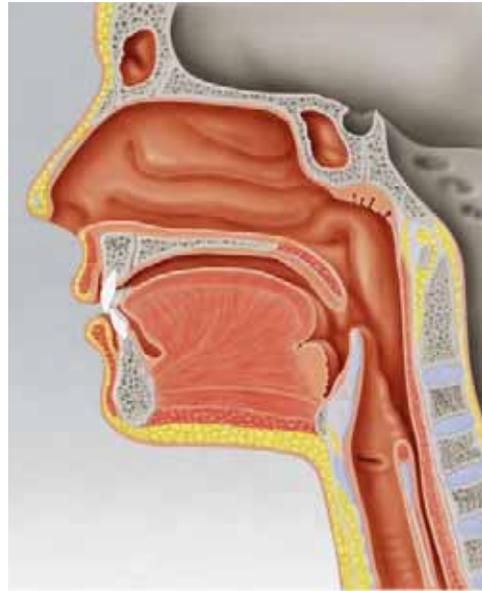
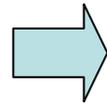
(厚生労働省研究班 鼻アレルギー診療ガイドラインより)

花粉症発症のメカニズム



← 30-40 μm →

スギ花粉(林野庁サイトより)

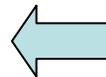


IgE

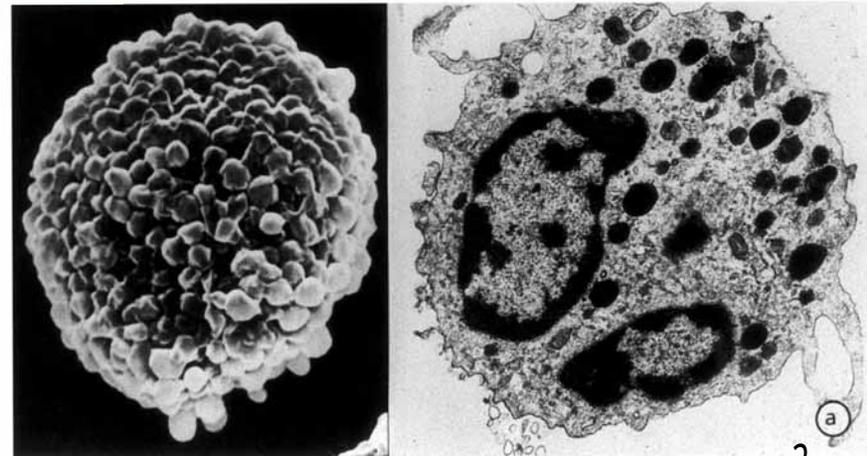


マスト細胞

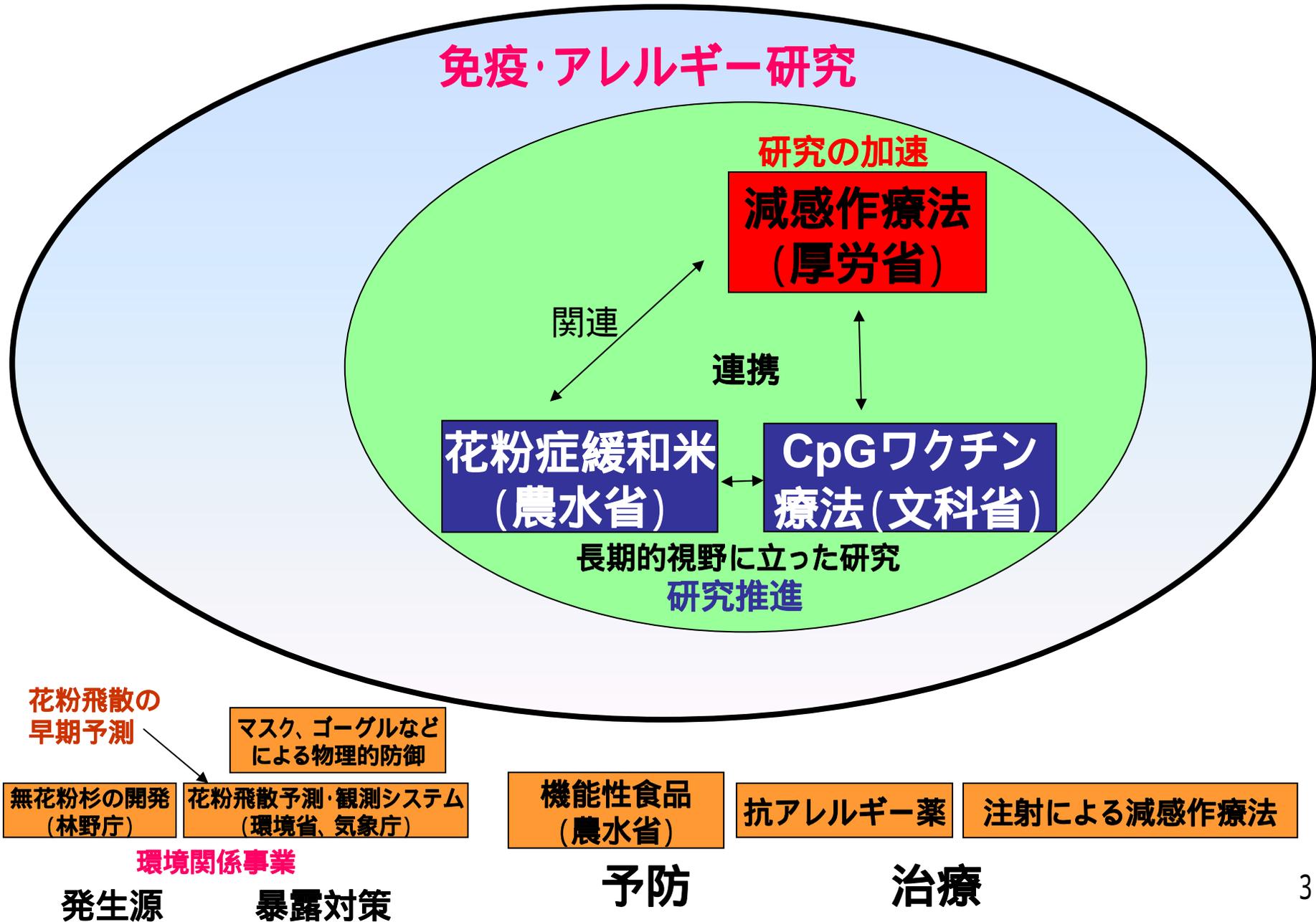
ヒスタミン等の放出



アレルギー反応



科学技術からみた花粉症対策



減感作療法の加速

- 舌下
- 経口(内服)
- 注射

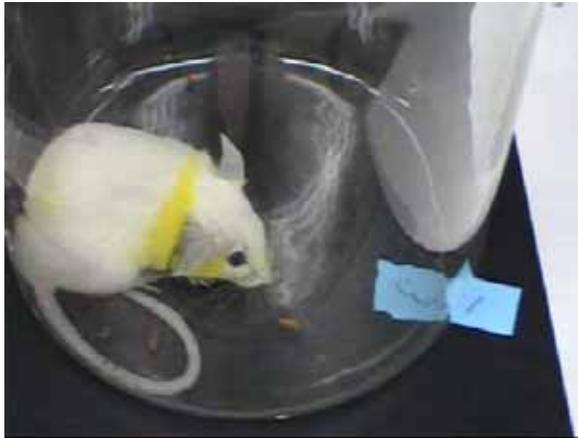


提供千葉大学

臨床研究の拡大
有効性の検査指標の開発

食品としてのポリフェノール(マスト細胞からのヒスタミン放出を抑える) (例)カテキン、フラボノイド

花粉症緩和米のマウスに対する効果



花粉症マウス
提供(独)理化学研究所

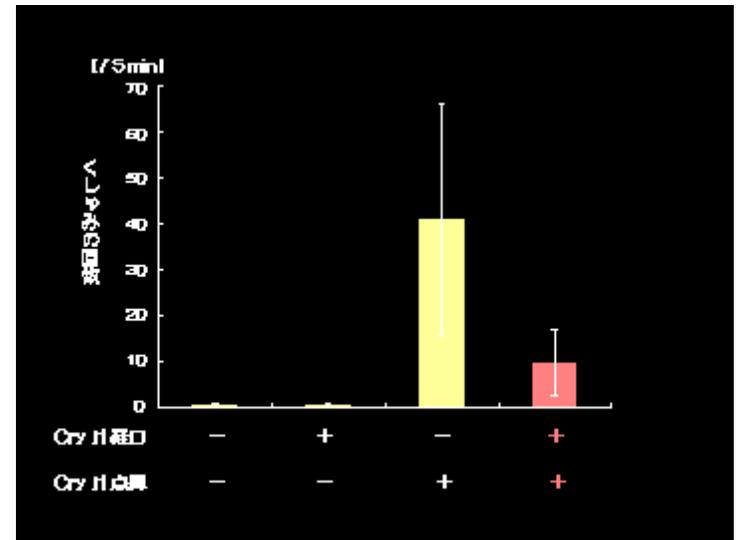
スギ花粉アレルゲンを点鼻

組換え米の食餌

4週間

3週間

くしゃみの回数が大幅に低下



花粉症対策研究のロードマップ

